

処方箋医薬品
 注意-医師等の処方箋により
 使用すること

アレルギー性皮膚疾患の検査薬

パッチテストパネル®(S)

PATCH TEST PANEL®(S)

日本標準商品分類番号

87729

承認番号 22600AMX01376000

薬価収載 2015年5月

販売開始 2015年5月

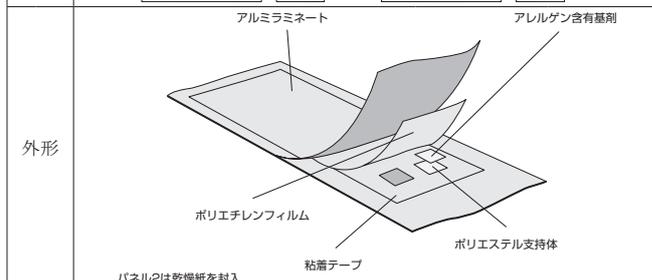
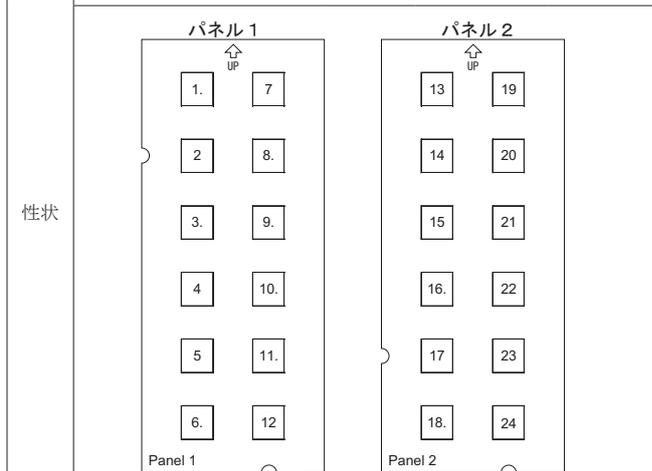
貯法	気密容器、2～8℃保存
使用期限	外箱、アルミ袋に表示（2年）

【組成・性状】

No.	成分	含量(試験片1枚中)	添加物	試験片の色
※※	1 硫酸ニッケル	0.16mg	ヒドロキシプロピルセルロース	無色透明
※※	2 ラノリンアルコール	0.81mg	ポビドン	無色～ <u>淡黄色</u> 透明
※※	3 フラジオマイシン硫酸塩	0.49mg	ポビドン	無色～ <u>白色</u> 透明
※※	4 重クロム酸カリウム	0.044mg	ポビドン	黄色～ <u>淡褐色</u> 透明
※※	5 カインミックス (アミノ安息香酸エチル、ジブカイン塩酸塩、テトラカイン塩酸塩)	0.51mg	ポビドン	無色～ <u>淡白色</u> 透明
※※	6 香料ミックス (α-アミルシンナムアルデヒド、イソオイゲノール、ケイ皮アルデヒド、オイゲノール、ケイ皮アルコール、ヒドロキシシトロネラル、ゲラニオール、オークモス)	0.402mg	ポビドン、β-シクロデキストリン	淡黄色～黄色
※※	7 ロジン(精製松脂)	0.97mg	ポビドン、ブチルヒドロキシアニソール、ジブチルヒドロキソトルエン	無色～ <u>淡白色</u> 透明
※※	8 パラベンミックス (パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸ブチル、パラオキシ安息香酸ペンジル)	0.80mg	ポビドン	無色～ <u>淡白色</u> 透明
※※	9 陰性対照	-	-	無色透明
※※	10 ペルーバルサム	0.65mg	ポビドン	淡褐色透明
※※	11 金チオ硫酸ナトリウム	0.061mg	ヒドロキシプロピルセルロース	無色透明
※※	12 塩化コバルト	0.016mg	ヒドロキシプロピルセルロース	淡青色透明
※※	13 <i>p-tert</i> -ブチルフェノールホルムアルデヒド樹脂	0.036mg	ヒドロキシプロピルセルロース	無色透明
※※	14 エポキシ樹脂	0.041mg	ヒドロキシプロピルセルロース	無色透明
※※	15 カルバミックス (ジフェニルグアニジン、ジエチルジチオカルバミン酸亜鉛、ジブチルジチオカルバミン酸亜鉛)	0.204mg	ヒドロキシプロピルセルロース	無色～ <u>白色</u> 透明
※※	16 黒色ゴムミックス (<i>N</i> -イソプロピル- <i>N'</i> -フェニルパラフェニレンジアミン、 <i>N</i> -シクロヘキシル- <i>N'</i> -フェニルパラフェニレンジアミン、 <i>N,N'</i> -ジフェニルパラフェニレンジアミン)	0.060mg	ポビドン	灰褐色透明

No.	成分	含量(試験片1枚中)	添加物	試験片の色
17	イソチアゾリノンミックス (5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン、2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン)	0.0032mg	ポビドン	無色透明
18	陰性対照	-	-	無色透明
19	メルカプトベンゾチアゾール	0.061mg	ポビドン	無色透明
20	パラフェニレンジアミン	0.065mg	ポビドン	淡赤紫色～ <u>暗赤紫色</u> 透明
21	ホルムアルデヒド (<i>N</i> -ヒドロキシメチルスルシンイミドとして)	0.150mg (0.645mg)	ポビドン、乾燥炭酸Na、炭酸水素Na	無色～ <u>白色</u> 透明
22	メルカプトミックス (モルホリニルメルカプトベンゾチアゾール、 <i>N</i> -シクロヘキシルベンゾチアジルスルフェンアミド、ジベンゾチアジルスルフィド)	0.060mg	ポビドン	無色透明
23	チメロサール	0.0057mg	ポビドン	無色透明
24	チウラムミックス (テトラメチルチウラムモノスルフィド、テトラメチルチウラムジスルフィド、ジスルフィラム、ジペンタメチレンチウラムジスルフィド)	0.022mg	ポビドン	無色透明

2枚の白色の粘着テープ上に、それぞれ12枚ずつの試験片を配置し、片面に保護シートを施したもの



大きさ 粘着テープ：52×130mm 試験片：9×9mm（面積：81mm²）

【効能・効果】

アレルギー性皮膚疾患のアレルゲンの確認

【用法・用量】

本剤を皮膚面に貼付する。貼付2日後に本剤を剥がし、剥がしてから30分から1時間後及び1日又は2日後に反応を以下の基準により判定する。なお、必要に応じて剥がしてから3～5日後にも同様に判定する。

- : 反応なし
- +? : 紅斑のみ
- + : 紅斑+浸潤、丘疹
- ++ : 紅斑+浸潤+丘疹+小水疱
- +++ : 大水疱
- IR : 刺激反応

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

1. 誤った判定をすることがあるので、にきび、損傷、皮膚炎のある部位にはパッチテストを行わないこと。
2. 副腎皮質ホルモン剤は陽性反応を抑制することがあるので、パッチテストを行う1週間前より検査部位への局所適用、内服又は注射を原則として避けること。
3. 抗ヒスタミン剤又は免疫抑制剤を全身適用した場合のパッチテスト結果に及ぼす影響は不明であるが、検査部位への局所適用は原則として避けること。
4. 多部位に陽性反応が見られた患者は刺激反応又は偽陽性の可能性があるため、判定には十分注意し、後日の再検査実施を考慮すること。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に使用すること）
本剤に含まれているアレルゲン又は添加物のいずれかに対し、重度の全身性又は局所性のアレルギー反応を示したことがある患者

※2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤の使用前に十分な問診及び視診を実施し、本剤の使用が適切と判断した場合に使用すること。
- (2) 皮膚炎が急性期にある場合には、皮膚炎の増悪、汎発化を来すことがあり、また皮膚の反応性が高まっているため非特異的反応を起こしやすいためパッチテストは行わないこと。
- (3) 夏期に2日間貼付した場合、非特異的反応が起こることがあるので注意すること。
- (4) 感作が誘発されることがある。検査10～20日後以降に陽性反応が発現した場合には、新たな感作が成立した可能性があるため後日の再検査実施を考慮すること。ただし、再検査の際には慎重に使用すること。
- (5) 遅発陽性反応が検査7～10日後に発現することがあり、金チオ硫酸ナトリウムについては、検査20日以上経過してから遅発陽性反応が発現したとの報告もある。
- (6) パッチテスト実施前には、感作や遅発陽性反応が生じる可能性があることを患者に説明し、判定後に陽性反応が発現した場合は、速やかに医療機関を受診するように注意を促すこと。
- (7) 陽性反応は通常1～2週間以内に消退するが、まれに1ヶ月以上持続することがある。
- (8) 原因アレルゲンの特定に際しては、本剤による検査結果のみではなく、問診の結果等も踏まえて総合的に判定すること。

3. 副作用

国内における本剤の臨床試験において、総症例52例に副作用は認められなかった。海外における本剤以外のアレルゲンを含めた臨床試験において、総症例4935例中、副作用が報告されたのは67例(1.36%)であった。主な副作用は、皮膚炎の増悪33例(0.67%)、発疹の増悪18例(0.36%)等であった。

その他の副作用

以下のような症状があらわれた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

＜海外臨床試験及び国内外市販後自発報告＞

頻度種類	0.1～1%未満	0.1%未満	頻度不明 ^(注)
皮膚	皮膚炎の増悪、発疹の増悪	皮膚炎の再燃、発疹の再燃、小水疱性皮疹、ニキビ様病変、浮腫、小水疱、疼痛、そう痒感、感染、痂皮形成、二次的なパッチテスト反応、テープによる刺激反応	急性アレルギー反応、極度の陽性反応、被刺激皮膚症候群、刺激性接触皮膚炎、粘着テープ部位の接触皮膚炎
その他	感作の疑い	発熱、咽頭痛、息切れ、口内炎	

注) 国内（パッチテストテープ）及び海外における自発報告のため、頻度不明。

4. 高齢者への使用

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、使用に際しては注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への使用

妊娠中の使用に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、診断上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。

6. 小児等への使用

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない。]

7. 適用上の注意

パッチテスト施行時の注意

- (1) 貼付部位は肩甲間部（傍脊椎部）が最適である。
- (2) パッチテスト施行中は入浴及び過激な運動を避けさせること。また、日光への暴露を最小限に抑えること。
- (3) パラフェニレンジアミンは染料であるため、皮膚が着色されることがある。この着色は約2週間持続することがある。

【臨床成績】

1. 国内比較臨床試験⁽¹⁾

金属アレルゲン（硫酸ニッケル、塩化コバルト）のパッチテストが有用と考えられた患者51例を対象に、FC（Finn Chamber）法による既承認薬を対照として実施した比較臨床試験において、本剤の有用性が下表のとおり確認された。

アレルゲン名	判定分類一致率	FC陽性一致率	FC陰性一致率
硫酸ニッケル	92.2% (47/51)	100% (9/9)	90.5% (38/42)
塩化コバルト	94.1% (48/51)	0% (0/1)	96.0% (48/50)

2. 海外比較臨床試験^{(2)～(10)}

アレルギー性接触皮膚炎の疑いのある患者2775例を対象に、FC法等によるICDRG標準アレルゲンを対照として複数の比較臨床試験を実施した^{(2)～(6)}。また、ホルムアルデヒドについては別途臨床試験を実施し、至適用量が設定された⁽⁷⁾。本剤の有用性が下表のとおり確認された。

さらに、別途臨床試験を実施し、パラフェニレンジアミン二塩酸塩からパラフェニレンジアミンへ改良され^(8,9)、フラジオマイシン硫酸塩と重クロム酸カリウムについては、用量が改良された⁽¹⁰⁾。

アレルゲン名	判定分類一致率	FC陽性一致率	FC陰性一致率
硫酸ニッケル	94.3% (1409/1494)	95.2% (378/397)	94.9% (1014/1069)
ラノリンアルコール	98.5% (1697/1723)	61.1% (22/36)	99.6% (1671/1677)
フラジオマイシン硫酸塩 ^(註1)	97.0% (1449/1494)	57.4% (31/54)	99.1% (1414/1427)
重クロム酸カリウム ^(註2)	96.5% (1441/1494)	85.9% (79/92)	98.4% (1353/1375)
カインミックス	98.1% (1465/1494)	84.1% (53/63)	99.2% (1410/1422)
香料ミックス	93.5% (1397/1494)	54.6% (71/130)	99.2% (1321/1332)
ロジン（精製松脂）	98.6% (1473/1494)	86.2% (50/58)	99.2% (1420/1432)
パラベンミックス	99.0% (1705/1723)	73.7% (14/19)	99.6% (1688/1694)
ペルーバルサム	95.2% (1422/1494)	67.7% (42/62)	97.7% (1377/1409)
金チオ硫酸ナトリウム	82.6% (90/109)	100.0% (7/7)	83.0% (83/100)
塩化コバルト	94.4% (1179/1249)	82.7% (110/133)	97.8% (1051/1075)
<i>p</i> -tert-ブチルフェノール	99.4% (1712/1723)	96.3% (26/27)	99.6% (1683/1689)
ホルムアルデヒド樹脂	98.7% (1474/1494)	78.6% (11/14)	98.8% (1461/1478)
カルバミックス	97.3% (1677/1723)	80.5% (33/41)	98.4% (1635/1661)
黒色ゴムミックス	98.5% (1697/1723)	62.5% (10/16)	99.1% (1682/1698)
イソチアゾリノンミックス	97.7% (1683/1723)	70.0% (35/50)	99.3% (1648/1659)
メルカプトベンゾチアゾール	99.4% (1713/1723)	94.1% (16/17)	99.6% (1697/1704)
パラフェニレンジアミン二塩酸塩 ^(註3)	96.3% (1439/1494)	55.4% (41/74)	98.8% (1397/1414)
ホルムアルデヒド	97.3% (248/255)	75.0% (6/8)	99.2% (242/244)

	アレルゲン名	判定分類 一致率	FC陽性 一致率	FC陰性 一致率
パネル 2	メルカプトミックス	99.4% (1713/1723)	81.8% (18/22)	99.6% (1695/1701)
	チメロサル	98.5% (1336/1356)	87.7% (50/57)	99.2% (1283/1293)
	チウラムミックス	98.6% (1473/1494)	85.7% (54/63)	99.4% (1414/1423)

注1) 比較臨床試験時の用量：0.16mg/試験片
注2) 比較臨床試験時の用量：0.020mg/試験片
注3) 本剤にはパラフェニレンジアミンが含まれる
判定分類：陽性（+以上）、陰性（-）、その他（?及びIR）の3つに分類する。
判定分類一致率：FC法と本剤の判定が一致した割合
FC陽性一致率：FC法における陽性患者の中で本剤においても陽性と判定された患者の割合
FC陰性一致率：FC法における陰性患者の中で本剤においても陰性と判定された患者の割合

【有効成分に関する理化学的知見】

No.	有効成分			
	一般名	化学名	分子式(分子量)	性状
1	硫酸ニッケル Nickel sulphate	Nickel (II) sulphate hexahydrate	NiSO ₄ ·6H ₂ O (262.85)	青色～青緑色の結晶で、水に溶けやすい。
2	ラノリンアルコール Wool alcohols	-	-	淡黄色又は黄褐色のもろい塊で、熱可塑性である。沸騰したエタノール(99.5)又はジクロロメタンにやや溶けやすく、水にほとんど溶けない。
3	フラジオマイシン硫酸塩 Fradimycin sulfate	-	C ₂₂ H ₄₆ N ₆ O ₁₃ · xH ₂ SO ₄	白色又は黄白色の粉末で、吸湿性であり、水に極めて溶けやすく、エタノール(95)に極めて溶けにくい。
4	重クロム酸カリウム Potassium dichromate	Potassium dichromate	K ₂ Cr ₂ O ₇ (294.18)	淡橙色～赤色の結晶で、水にやや溶けやすい。
5	アミノ安息香酸エチル Ethyl aminobenzoate	Ethyl 4-aminobenzoate	C ₉ H ₁₁ NO ₂ (165.19)	無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、エタノール(95)に溶けやすく、水に極めて溶けにくい。
	ジブカイン塩酸塩 Dibucaine hydrochloride	2-Butyloxy-N-(2-diethylaminoethyl)-4-quinolinecarboxamide-monohydrochloride	C ₂₀ H ₃₀ ClN ₃ O ₂ (379.92)	無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、吸湿性であり、水に極めて溶けやすく、アセトン又はエタノール(95)に溶けやすい。凝集性がある。
	テトラカイン塩酸塩 Tetracaine hydrochloride	2-(Dimethylamino)ethyl 4-(butylamino)benzoate-monohydrochloride	C ₁₅ H ₂₅ ClN ₃ O ₂ (300.82)	白色の結晶性の粉末で、わずかに吸湿性があり、水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすい。
6	α-アミルシンナムアルデヒド α-Amyl cinnamaldehyde	α-Pentylcinnamaldehyde	C ₁₄ H ₁₈ O (202.29)	淡黄色の液体で、花のジャスミン様又はユリ様のおいがあり、エタノール(99.5)と混和する。
	イソオイゲノール Isoeugenol	2-Methoxy-4-propenylphenol	C ₁₀ H ₁₂ O ₂ (164.20)	淡黄色油状の液体で、花様、スパイス様の甘いにおいがあり、水に溶けにくく、エタノール(99.5)と混和する。
	ケイ皮アルデヒド Cinnamaldehyde	3-Phenyl-2-propenal	C ₉ H ₈ O (132.16)	淡黄色油状の液体であり、シナモン様のおいがあり、エタノール(99.5)と混和する。
	オイゲノール Eugenol	2-Methoxy-4-(2-propenyl)phenol	C ₁₀ H ₁₂ O ₂ (164.20)	無色又は淡黄色澄明の液体で、チョウジ様のにおいがあり、薄めたエタノール(99.5)(7→10)に溶けやすく、水にほとんど溶けず、エタノール(95)と混和する。空气中にさらすと、色が濃くなる。
	ケイ皮アルコール Cinnamyl alcohol	3-Phenyl-2-propen-1-ol	C ₉ H ₁₀ O (134.18)	針状又は結晶状の固体で、ヒヤシンス様のにおいがあり、エタノール(95)に溶けやすく、水にやや溶けやすい。
ヒドロキシシトロネラル Hydroxycitronellal	7-Hydroxy-3,7-dimethyloctan-1-al	C ₁₀ H ₂₀ O ₂ (172.26)	無色～淡黄色の液体で、花様の甘いにおいがあり、水と混和する。	
グラニオール Geraniol	2-trans-3,7-Dimethyl-2,6-octadien-1-ol	C ₁₀ H ₁₈ O (154.25)	無色～淡黄色の液体で、甘い、バラ様のにおいがあり、水にほとんど溶けず、エタノール(99.5)と混和する。	
オークモス Oak moss	-	-	暗緑色の粘糊性のペーストであり、エタノール(99.5)と混和する。	

No.	有効成分			
	一般名	化学名	分子式(分子量)	性状
7	ロジン(精製松脂) Colophony	-	-	半透明で淡黄色～黄褐色の角があり、不規則な形で、もろく、表面が貝殻状の模様をしており、異なった大きさのガラス状の物質である。
	パラオキシ安息香酸メチル Methyl parahydroxybenzoate	Methyl 4-hydroxybenzoate	C ₈ H ₈ O ₃ (152.15)	無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、メタノール又はエタノール(95)に溶けやすく、水に極めて溶けにくい。
	パラオキシ安息香酸エチル Ethyl parahydroxybenzoate	Ethyl 4-hydroxybenzoate	C ₉ H ₁₀ O ₃ (166.17)	無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、メタノール又はエタノール(95)に溶けやすく、水に極めて溶けにくい。
8	パラオキシ安息香酸プロピル Propyl parahydroxybenzoate	Propyl 4-hydroxybenzoate	C ₁₀ H ₁₂ O ₃ (180.20)	白色の結晶性の粉末で、メタノール又はエタノール(95)に溶けやすく、水に極めて溶けにくい。
	パラオキシ安息香酸ブチル Butyl parahydroxybenzoate	Butyl 4-hydroxybenzoate	C ₁₁ H ₁₄ O ₃ (194.23)	無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、メタノール又はエタノール(95)に溶けやすく、水に極めて溶けにくい。
	パラオキシ安息香酸ベンジル Benzyl parahydroxybenzoate	Benzyl 4-hydroxybenzoate	C ₁₄ H ₁₂ O ₃ (228.24)	白色～乳白色の結晶性の粉末で、水にほとんど溶けない。
10	ペルーバルサム Balsam of Peru	-	-	暗褐色澄明の粘糊性の液体で、エタノール(99.5)に溶けやすく、水にほとんど溶けず、ヒマシ油以外の脂肪油と混和しない。
11	金チオ硫酸ナトリウム Gold(I) sodium thiosulfate	Bis[monothio-sulfato-(2-)O,S]aurate(3-)trisodium	AuNa ₃ O ₆ S ₄ · 2H ₂ O (526.22)	白色の塊状になった微粉末で、水に溶けやすく、エタノール(95)にほとんど溶けない。
12	塩化コバルト Cobalt chloride	Cobalt (II) chloride hexahydrate	CoCl ₂ ·6H ₂ O (237.93)	淡紅色～赤色の結晶で、水又はエタノール(95)にやや溶けやすい。
13	p-tert-ブチルフェノールホルムアルデヒド樹脂 p-tert-Butylphenol formaldehyde resin	-	-	淡褐色の薄片で、エタノール(99.5)にやや溶けやすく、水にほとんど溶けない。
14	エポキシ樹脂 Epoxy resin	-	-	澄明で粘糊な液体で、水にほとんど溶けない。
15	ジフェニルグアニジン Diphenylguanidine	1,3-Diphenylguanidine	C ₁₃ H ₁₃ N ₃ (211.26)	灰白色～乳白色の粒又は粉末で、エタノール(99.5)にやや溶けやすく、冷水に溶けにくい。
	ジエチルジチオカルバミン酸亜鉛 Zinc diethyldithiocarbamate	Zinc diethyldithiocarbamate	C ₁₀ H ₂₀ N ₂ S ₄ Zn (361.92)	白色～黄白色の粉末で、エタノール(99.5)にやや溶けやすく、水にほとんど溶けない。
	ジブチルジチオカルバミン酸亜鉛 Zinc dibutyldithiocarbamate	Zinc dibutyldithiocarbamate	C ₁₈ H ₃₆ N ₂ S ₄ Zn (474.13)	白色～黄白色の粉末で、エタノール(99.5)にやや溶けやすく、水にほとんど溶けない。
16	N-イソプロピル-N'-フェニルパラフェニレンジアミン N-Isopropyl-N'-phenylparaphenylenediamine	N-(1-Methyl-ethyl)-N'-phenyl-1,4-phenylenediamine	C ₁₅ H ₁₈ N ₂ (226.32)	淡灰色～濃褐色の粉末又は薄片で、エタノール(99.5)にやや溶けやすく、水に極めて溶けにくい。
	N-シクロヘキシル-N'-フェニルパラフェニレンジアミン N-Cyclohexyl-N'-phenylparaphenylenediamine	N-Cyclohexyl-N'-phenyl-1,4-phenylenediamine	C ₁₈ H ₂₂ N ₂ (266.38)	紫色の粉末又は薄片で、水又はエタノール(99.5)に溶けにくい。
	N,N'-ジフェニルパラフェニレンジアミン N,N'-Diphenylparaphenylenediamine	N,N'-Diphenyl-1,4-phenylenediamine	C ₁₈ H ₁₆ N ₂ (260.33)	灰紫色又は暗褐色の結晶性の粉末又は薄片で、エタノール(95)に溶けにくく、水にほとんど溶けない。

No.	有効成分			性状
	一般名	化学名	分子式(分子量)	
17	5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン 5-Chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one	5-Chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one	C ₄ H ₄ CINOS (149.60)	淡黄褐色の液体で、水と混和する。比重(20度、20度)は約 1.2である。
	2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン 2-Methyl-4-isothiazolin-3-one	2-Methyl-4-isothiazolin-3-one	C ₆ H ₈ NOS (115.15)	
19	メルカプトベンゾチアゾール Mercaptobenzothiazole	2-Mercaptobenzothiazole	C ₇ H ₅ NS ₂ (167.25)	淡黄色の粉末で、エタノール(99.5)にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。
20	パラフェニレンジアミン Paraphenylenediamine	1,4-Phenylenediamine	C ₆ H ₈ N ₂ (108.14)	白色～微赤色の結晶で、水又はエタノール(95)にやや溶けやすい。
21	N-ヒドロキシメチルスルホニイミド N-hydroxymethylsuccinimide	1-(Hydroxymethyl)-2,5-pyrrolidinedione	C ₅ H ₇ NO ₃ (129.11)	無色又は白色の結晶性の粉末で、水中で分解してホルムアルデヒドを生ずる。
22	モルホリニルメルカプトベンゾチアゾール Morpholinylmercaptobenzothiazole	Morpholinylmercaptobenzothiazole	C ₁₁ H ₁₂ N ₂ OS ₂ (252.36)	淡黄色又は淡褐色の粒状である。
	N-シクロヘキシルベンゾチアジルスルフェンアミド N-Cyclohexylbenzothiazylsulphenamide	N-Cyclohexylbenzothiazylsulphenamide	C ₁₃ H ₁₆ N ₂ S ₂ (264.41)	淡灰色～灰黄色の微粒で、エタノール(95)にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。
	ジベンゾチアジルスルフィド Dibenzothiazyl disulfide	Dibenzothiazyl disulfide	C ₁₄ H ₈ N ₂ S ₄ (332.49)	淡黄色の粉末で、クロロホルムにやや溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。
23	チメロサル Thimerosal	Ethyl (2-mercaptobenzoato-S) mercury sodium salt	C ₉ H ₉ HgNaO ₂ S (404.81)	白色～類白色の結晶性粉末で、水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすい。
24	テトラメチルチウラムモノスルフィド Tetramethylthiuram monosulfide	Bis (dimethylthiocarbamoyl) monosulfide	C ₆ H ₁₂ N ₂ S ₃ (208.37)	淡黄色の小粒で、水にほとんど溶けない。
	テトラメチルチウラムジスルフィド Tetramethylthiuram disulfide	Bis (dimethylthiocarbamoyl) disulfide	C ₆ H ₁₂ N ₂ S ₄ (240.43)	黄白色～灰色の粉末で、水にほとんど溶けない。
	ジスルフィラム Disulfiram	Bis (diethylthiocarbamoyl) disulfide	C ₁₀ H ₂₀ N ₂ S ₄ (296.54)	白色又はほとんど白色の結晶性の粉末で、エタノール(95)にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。
	ジペンタメチレンチウラムジスルフィド Dipentamethylene thiuram disulfide	Bis (pentamethylenethiocarbamoyl) disulfide	C ₁₂ H ₂₀ N ₂ S ₄ (320.56)	白色～黄白色の粉末で、水にほとんど溶けない。

【包装】

1ユニット (パネル1・パネル2、診断補助ゲージ) × 2

【主要文献】

- 1) 中田土起丈ほか：臨床医薬. 2009; 25: 12
- 2) M. Ruhnek-Forsbeck, *et al.* : Acta. Derm. Venereol. 1988 ; 68: 123
- 3) J.-M. Lachapelle, *et al.* : Contact Dermatitis. 1988 ; 19, 91
- 4) B. Stenberg, *et al.* : Current Topics in Contact Dermatitis. 1989 ; 518
- 5) J. D. Wilkinson, *et al.* : Contact Dermatitis. 1990 ; 22: 218
- 6) 佐藤製薬株式会社 社内資料：Clinical Evaluation of T.R.U.E TEST® Panel 3.2 Allergens:Gold Sodium Thiosulfate, Hydrocortisone-17-Butyrate, Methylidibromogluaronitrile, Bacitracin, Parthenolide, Disperse Blue 106, and Bronopol.
- 7) T. Fischer, *et al.* : Curr. Prob. Dermatol; 1995; 22: 24
- 8) 佐藤製薬株式会社 社内資料：Retest of p-phenylenediamine discordant reactions revised from a clinical investigation of TRUE Test™, standard panel, Spanish multicenter study.

9) 佐藤製薬株式会社 社内資料：A controlled, non-blind, dose-response and irritation study on p-Phenylenediamine using the TRUE Test™ concept.

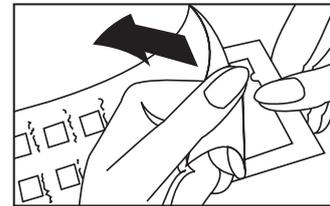
10) 佐藤製薬株式会社 社内資料：Clinical Evaluation of T.R.U.E TEST® Neomycin Sulfate and Potassium Dichromate Allergens Bioequivalence of Vehicle Formulations.

※※【文献請求先】

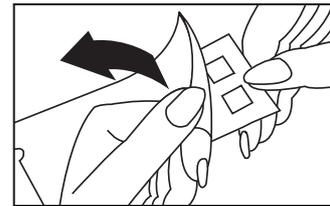
主要文献 (社内資料含む) は下記にご請求ください。

佐藤製薬株式会社 医薬事業部
フリーダイヤル 0120-310-656

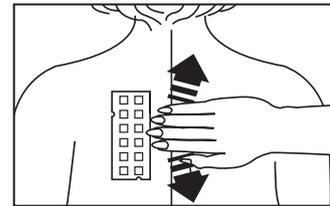
パッチテストパネル® (S) の使用方法



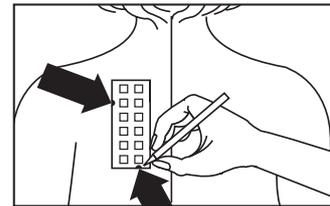
1) アルミ袋を開封し、パネル1を取り出す。



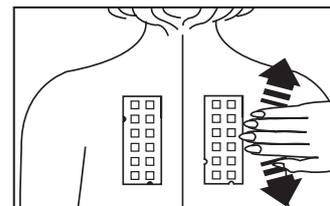
2) パネル1の表面からポリエチレンフィルムを剥がす。アレルゲンに触れないように注意する。



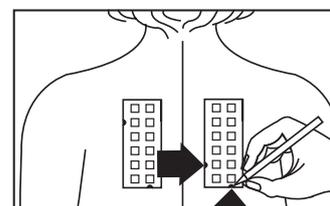
3) アレルゲンNo.1が左上の隅に来るようにしてパネル1を患者背部左側上方の傍脊椎部に貼付する。パネルが肩甲骨辺縁上に被らないように注意する。各アレルゲンが皮膚と確実に密着するようにパネルの中心から縁の方向に外側に向けてパネルを平らに貼付する。



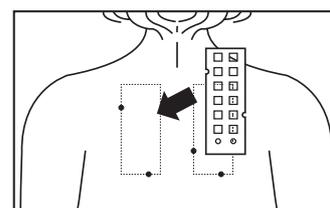
4) 医療用マーキングペンを使用し、パネル上の2か所の切れ込みに合わせて皮膚上に印を付ける。



5) アレルゲンNo.13が左上の隅に来るようにしてパネル2を患者背部右側上方の傍脊椎部に貼付する。パネルが肩甲骨辺縁上に被らないように注意する。各アレルゲンが皮膚と確実に密着するようにパネルの中心から縁の方向に外側に向けてパネルを平らに貼付する。



6) 医療用マーキングペンを使用し、パネル上の2か所の切れ込みに合わせて皮膚上に印を付け2日間放置する。



7) 判定時には診断補助ゲージの切れ込みをマーキングペンで付けた印に合わせることで各アレルゲンを貼付した部位を特定できます。

製造販売元 (輸入)

佐藤製薬株式会社

東京都港区元赤坂1丁目5番27号